

平成27年12月24日
山口県教育委員会会議 意見交換資料

教員採用候補者選考試験における志願者確保と
実践的指導力を有する教員志願者養成のための
取組について

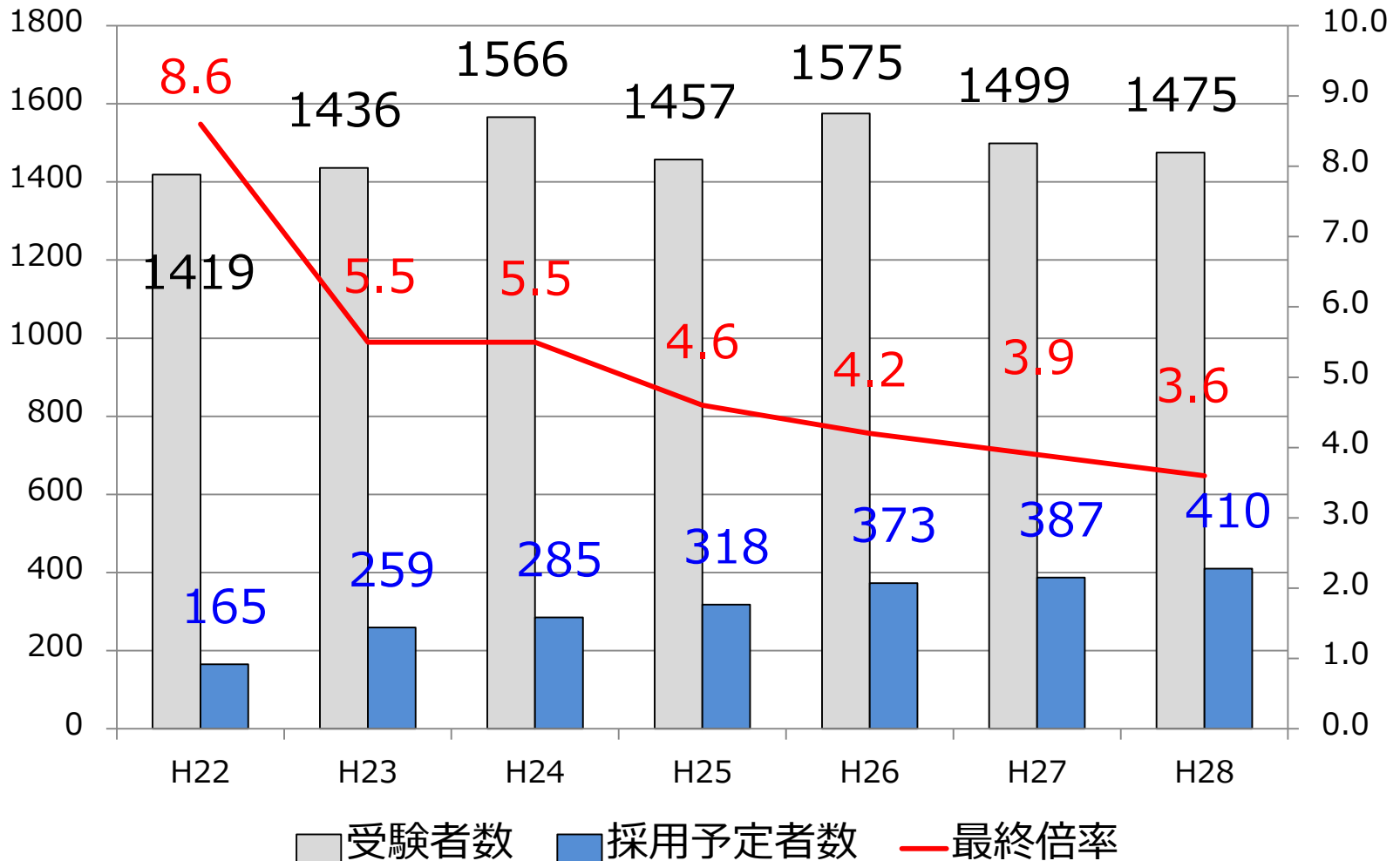


山口県教育庁教職員課

1 本県の現状について

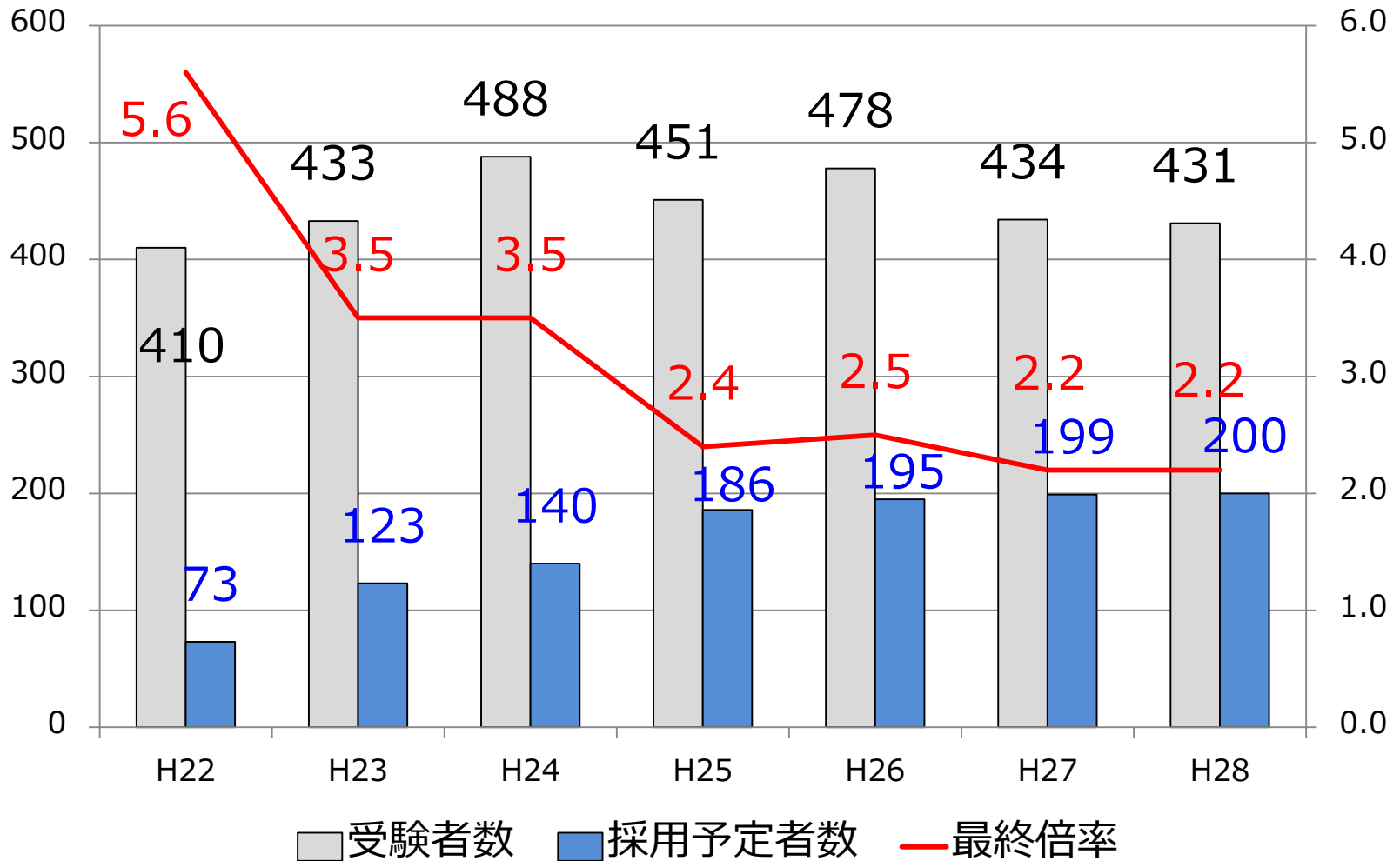
教員採用候補者選考試験における 最終倍率の推移

◆ 全校種等



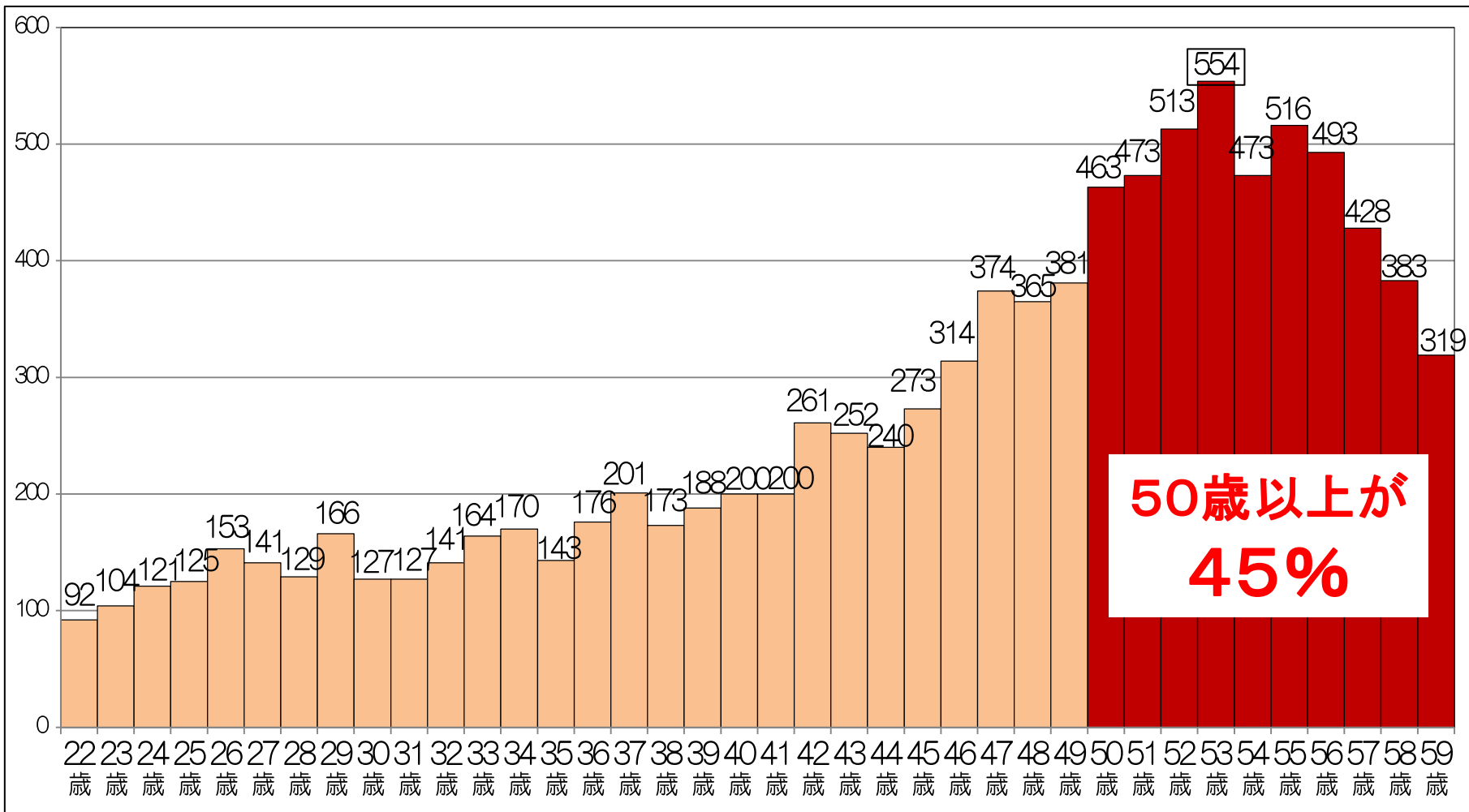
教員採用候補者選考試験における 最終倍率の推移

◆ 小学校



本県公立学校教員の年齢構成について

H27. 4. 1日現在



教職員人材育成基本方針

平成24年3月策定

教職員に求められる資質能力

山口県が求める教師像

～未来を担う子どもたちにあなたの熱い情熱を！～

- ◎豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人
- ◎強い使命感と倫理観をもち続けることができる人
- ◎児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
- ◎幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人
- ◎豊かな社会性をもち、幅広いコミュニケーションができる人
- ◎常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

教職員人材育成基本方針

若手教員に求められる資質能力

実践的指導力

学習指導や生徒指導等を行う際に必要な基礎的な知識や技能を基盤とした**実践的指導力**や教育に対する**使命感**や**情熱**などが求められるとともに、児童生徒とのふれあいや保護者・地域との関わり等を通して、教育実践や経験を積み重ねていくことも必要です。

◆ 採用予定者に占める新規学卒者の割合

	H26	H27	H28
全校種等	29%	36%	40%
小学校	39%	47%	56%

◎ 本県の現状

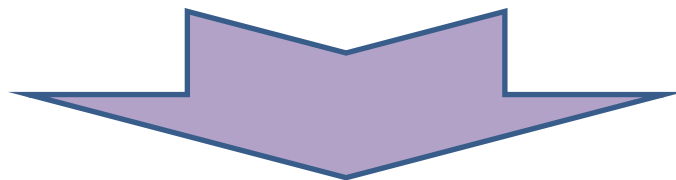
- 採用見込者数増加による最終倍率の低下
- 採用予定者に占める新規学卒者の割合の上昇



喫緊の課題への対応

- 教員採用候補者選考試験における志願者確保の取組
- 実践的指導力を有する教員志願者養成のための取組

2 教員採用候補者選考試験における志願者確保の取組



- 教員採用候補者選考試験の改善
- 志願者確保の推進

○ 教員採用候補者選考試験の改善

年齢要件の引き上げ

特別選考及び試験の一部免除の実施

年齢要件の引き上げ

- 教員の年齢構成のアンバランスを解消する。
- 経験豊富な臨時的任用教員や多様な経験を積んだ社会人等の人材の確保を図る。

○ 本県における一般選考受験年齢の推移

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
受験年齢 の上限※	34歳	39歳	→	44歳	→	49歳

※ 年齢は、試験実施年度末時点

特別選考及び試験の一部免除の実施

- 豊かな経験や優れた知識・能力を有する多様な人材の確保を図る

平成28年度教員採用候補者選考試験

◆特別選考

- ・ 社会人特別選考
- ・ スポーツ・芸術特別選考
- ・ 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考
- ・ 博士号取得者特別選考
- ・ 看護科教諭特別選考

平成28年度教員採用候補者選考試験

◇試験の一部免除

- 昨年度の第一次試験を受験し第二次試験で不合格となった者のうち、総合評価ランクがA又はBであるものを対象とした第一次試験免除
- 他県における本採用教員のうち3年以上の勤務経験を有する者を対象とした第一次試験免除
- 上記以外の、他県における本採用教員を対象とした第一次試験の教職専門免除
- 山口県内の国公立学校における臨時的任用教員等を対象とした第一次試験の教職専門免除

○ 志願者確保の推進

UJIターン促進に向けた取組

- やまぐち教職ガイダンス
- 大学等訪問の強化

教員志望者拡大に向けた取組

- 高校生のための教職セミナー
- 若手教員ボランティアリクルーター

UJIターン促進に向けた取組

やまぐち教職ガイダンス

▽ 対象

- ・ 県内大学の学生や県内高校から県外大学に進学した学生
- ・ 県外の本採用教員及び臨時的任用教員 等

▽ 内容

- ・ 山口県の教育について
- ・ 山口県公立学校教員採用候補者選考試験について
- ・ 現職教員による体験談



▽ 平成27年度の実施状況

- ・ 5月（教員採用試験説明会として実施）参加者：716人（H26：663人）
県内7会場、県外7会場（東京、大阪、岡山、広島2、福岡2）
- ・ 11月～1月 参加者（H26：529人）
県内9会場（教職課程を有する大学）
県外5会場（岡山、広島2、福岡2）

UJIターン促進に向けた取組

大学等訪問の強化

▽ 対象

- 本県教員採用試験の受験者や県内高校からの進学者の多い大学
- 教員採用試験講座を有する公務員学校

▽ 平成27年度の実施状況

- 3月教員採用試験大綱発表に合わせて実施
県内：全ての教職課程を有する大学等12校
県外：中国10校、九州11校
- 5月教員採用試験要項発表に合わせて実施
県内：全ての教職課程を有する大学等12校
県外：関東15校、関西12校、中国・四国・九州7校
- 12月～1月教職ガイダンスに合わせて実施予定

教員志望者拡大に向けた取組

高校生のための教職セミナー

▽ 対象

- ・ 学校の先生になりたいと
考えている県内の高校生

▽ 内容

- ・ 教員になるためには
- ・ 現職教員による体験談
- ・ 現職教員を囲んでの座談会



▽ 平成27年度の実施状況

- ・ 夏季休業中に県内5会場で実施
- ・ 参加者：生徒267人、保護者113人
(H26：生徒167人、保護者64人)

教員志望者拡大に向けた取組

若手教員ボランティアリクルーター

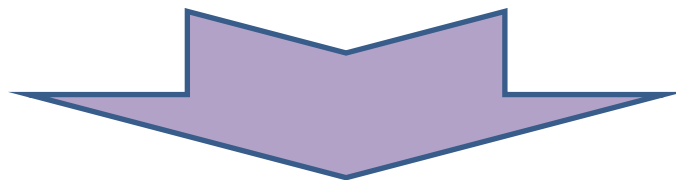
▽ 概要

若手教員等がもつ大学や学生などとのネットワークを活用し、山口県教育の魅力について積極的な情報発信を行う取組

▽ 平成27年度の実施状況

- 5月 初任者研修において、採用1年目の教員に協力依頼
- 12月 新規採用予定者研修会において、次年度の採用予定者に協力依頼

3 実践的指導力を有する教員志願者養成のための取組について



- 山口県教員養成等検討協議会**
- 山口県の教師塾**

○ 山口県教員養成等検討協議会

▽ 設置の趣旨

山口県の教育の振興に向けて、本県教育の担い手である教員の養成や採用及び現職教員の育成など、**教育委員会・学校と大学等が連携した取組を進めるため**、平成25年度に設置

▽ 委員

- ・ 教員養成課程を有する県内全ての大学等から推薦された委員 11名
- ・ 山口県が継続的に現職教員を派遣している県外大学から推薦された委員 1名
- ・ 市町教育委員会及び公立学校関係委員 4名



○ 山口県教員養成等検討協議会

▽ 所掌事務

- ・ 教育委員会・学校と大学等が連携した教員の養成の在り方に関する事
- ・ 教育委員会・学校と大学等が連携した教員の採用の在り方に関する事
- ・ 教育委員会・学校と大学等が連携した現職教員の育成の在り方に関する事
- ・ その他、教育委員会・学校と大学等が連携した取組に関する事

○ 山口県の教師塾

以下の取組を一連の流れとして位置付け、「山口県の教師塾」として、養成・採用を一体化した取組を推進

教員をめざす学生の学校体験制度

山口県教師力向上プログラム

採用前教職インターンシップ

教員をめざす学生の学校体験制度

対象：大学1・2年生、短期大学1年生

▽ 目的

教員を志望する学生が、実際に児童生徒とふれあったり、教員の仕事に接したりする体験を通して、**教員という職業の魅力を実感し、教育に対する意欲の向上を図る。**

▽ 活動内容等

学習活動の補助、
学校行事の補助、
部活動の補助等

▽ 実施時期・期間

及び参加者数

- ・ 大学が休講となる9月に、1週間以内
- ・ **参加者数：256人**（H26：95人）



山口県教師力向上プログラム

対象：大学3年生、大学院1年生

▽ 目的

山口県の優れた指導力を有する教員の教育実践を学ぶ場を提供し、**大学で身につけた専門的知識の具現化を図ることにより、実践的指導力を養う。**

▽ 受講者

本県公立小学校の教員を強く志望する者 32人
(H26：27人)

▽ 受講者選抜試験

学長等が推薦する有資格者に対して、小論文、個人面接を実施

山口県教師力向上プログラム

▽ プログラムの内容

○ 教師力養成講座

- ・ 教育課題に対する理解を深めるとともに実践的指導力を高める講座

- ・ 教育庁各課担当者等が講師

【講座内容】

児童生徒理解、授業づくり、学級経営、保護者との連携、いじめ・問題行動への対応 等

○ 教師力養成体験実習

- ・ 学校現場で、優れた指導力を有する教員のもと、実践的指導力を高める体験実習
- ・ 大学の講義や教師力養成講座の内容の具現化を図る。



採用前教職インターンシップ

対象：大学4年生、大学院2年生 等

▽ 目的

新規学卒の採用予定者が、自信をもって4月から教壇に立つことができるよう、学校において教育実践を積むことにより、教職への適応力を高めるとともに、教員に求められる実践的な指導力を培う。

▽ 対象校種等及び参加者数

- ・ 小学校教諭及び養護教諭採用候補者
- ・ 参加者：64人(H26：45人)

▽ 実施時期・期間

1 1月上旬～平成28年2月末までの間に、5日間以上